

## 食空間についての意識調査

太田 信子 籾 早苗

### A Study of Students' Notions About Table Coordination with Other Amenities

Nobuko OTA Sanae EBIRA

本学の学生を対象に食生活の実態や考えを知る為に①食生活の現状②料理の関心度③もてなし④食空間の関心度について調査を行った。料理や食卓についての関心度が高く、日常の食事や年中行事食なども、全体の8割が家庭で作っているという結果であった。しかし料理や年中行事食など全く関心がないという結果も得られた。

キーワード：食空間，料理，もてなし，食生活

#### はじめに

美味しい料理を作り、その料理を食卓にセッティングして家族で楽しく食事をする。そのような日常の食生活も、現代の多忙な生活によって近年大幅に変わってきている。経済の不況に伴って夫婦共働き・単身赴任・リストラ・核家族や女性の社会への進出などで、ゆっくり家族揃って食卓を囲むという生活が減少しつつある。そこで、食生活者のアドバイザーとして、また栄養士を目指しこれから活躍する学生はどのような食生活を過ごしているのか、食空間に対してどのように考えているのかを調査した。

#### 方法と対象及び内容

方法はアンケートによる調査。対象は本学の食物栄養科1・2年生に依頼した。調査時期は2006年11月実施。回収率は89.4% (152名) である。アンケート調査の内容は以下の4つの柱に大別した。

1. 食生活の現状について
2. 料理の関心度について
3. もてなしについて
4. 食空間の関心度について

#### 結果と考察

##### 1. 食生活の現状について

###### 1 住まいについて

###### ①現在の住まい (図-1)

家族と同居が1年生で74.4% 2年生では83.8%。1人住まいは1年生25.6% 2年生は16.2%あった。学校近郊の通学生が大半を占め、地方からの学生は2年生より1年生が少々多いが全体としては少ない。  
○1人暮らしの場合 (帰省先での食生活)

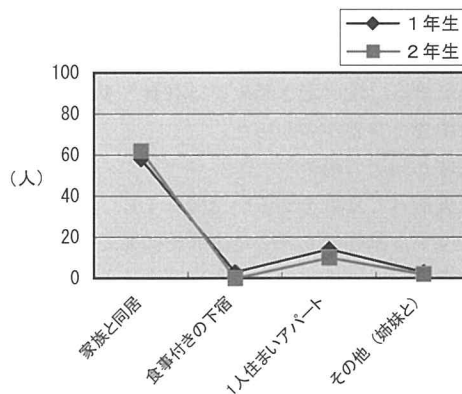
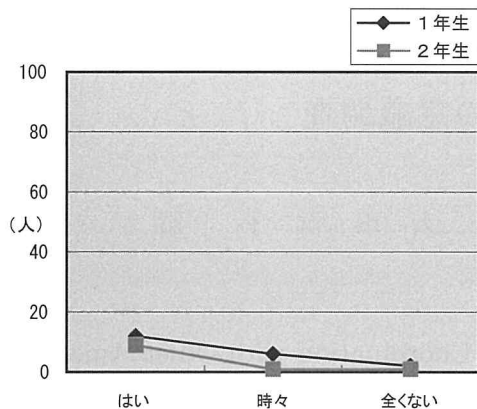
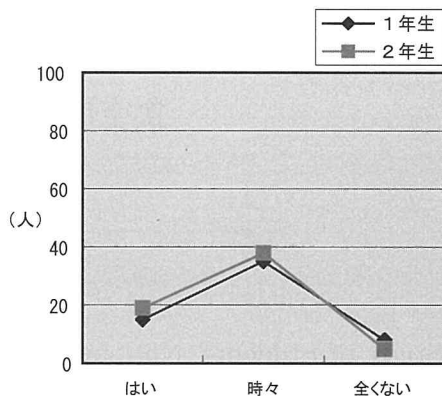


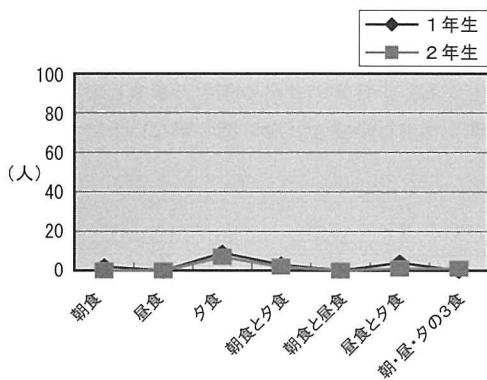
図-1 現在の住まい



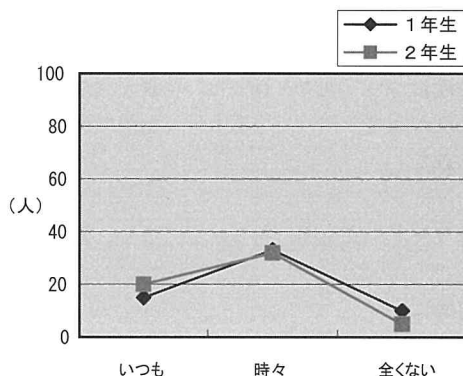
図一 2 家族揃って食事をする (帰省先)



図一 4 家族揃って食事をするか (同居)



図一 3 家族揃っての食事はいつか (帰省先)



図一 5 平日に家族揃って食事をするか (同居)

②家族が揃って食事することはあるか (図一 2)

1年生60% 2年生82%であった。時々する家庭は1年生で30% 2年生9%であった。しかし家族が揃って食事をすることは全くないという家庭は1・2年生共約10%であった。

③1日の中で家族揃っての食事はいつか (図一 3)

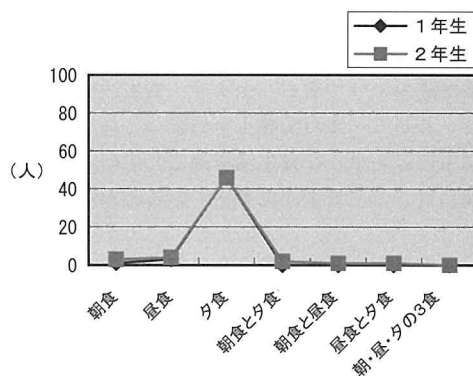
1年生は45%で2年生63.6%と1・2年生共夕食が最も多く、次いで1年生では昼食と夕食、2年生では朝食と夕食が多かった。

○家族と同居の場合

④家族揃って食事をするか (図一 4)

時々する家庭は1・2年生共約60%で最も多く、次いでいつも家族が揃って食事をするという家庭は1年生が25.9% 2年生30.6%であったが、家族が揃って食事をすることは全く無い家庭は1年生13.8%で2年生は8.1%であった。

⑤平日では何時が多いか (図一 5)

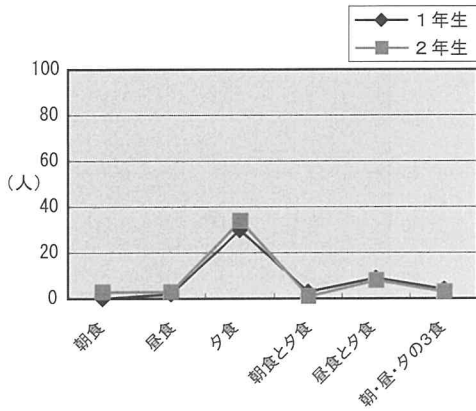


図一 6 休日に家族揃っての食事はいつが多いか (同居)

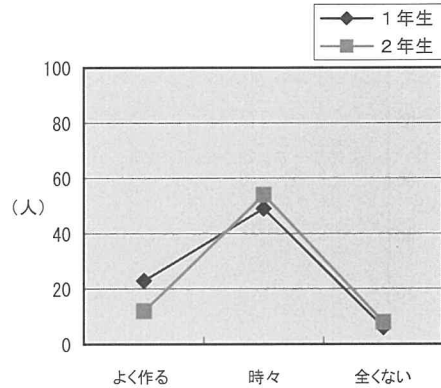
1年生は92%で2年生が80.7%と共に夕食が最も多かった。

⑥休日には家族揃って食事をするか (図一 6)

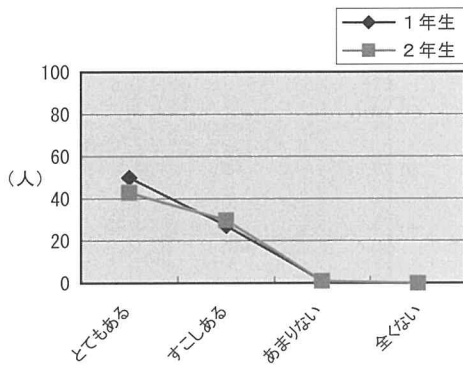
時々家族揃って食事をする家庭は1年生56.9%で



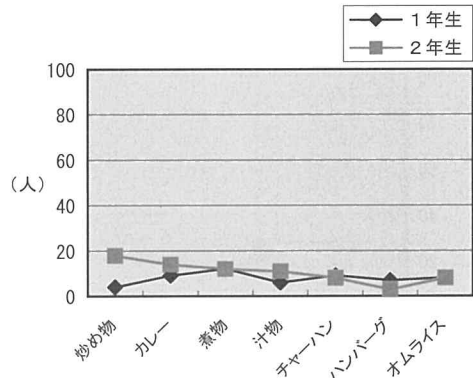
図一七 休日に家族揃っての食事はいか（同居）



図一九 家で料理を作るか



図一八 料理に関心があるか



図一〇 どのような料理を作るか

2年生は56.1%とほぼ同数であり、家族揃って食事をすると全く無い家庭は1年生では17.2%、2年生は8.8%であった。

⑦休日では何時が多いか（図一七）

1年生は51.7%で2年生も59.6%共に夕食が最も多かった。

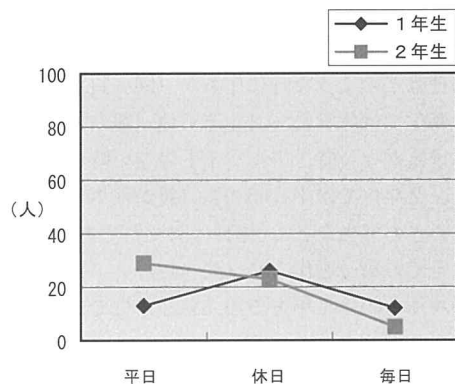
2. 料理の関心度

①料理に関心（図一八）

料理に関心があるのは1年生では98.7%2年生は98.6%ほとんどの学生は関心があったが、料理に関心がないという学生は1・2年生共に約1.4%あった。

②家庭で料理を作ることがあるか（図一九）

家庭で時々料理を作る学生は1年生が62.8%2年生で73%であったが、しかし全く作らない学生が1年生で7.7%2年生では10.8%いたことは寂しいこ



図一一 どのような時に作るか

とである。

③どのような料理を作るのか（図一〇）

1年生では煮物が最も多く、チャーハン・カレー・オムライス・ハンバーグの順に多かった。2年

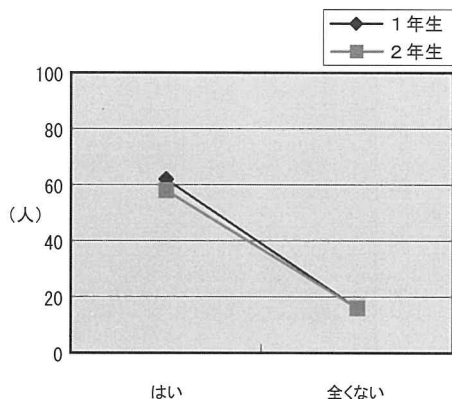


図-12 家庭でお菓子を作ることがあるか

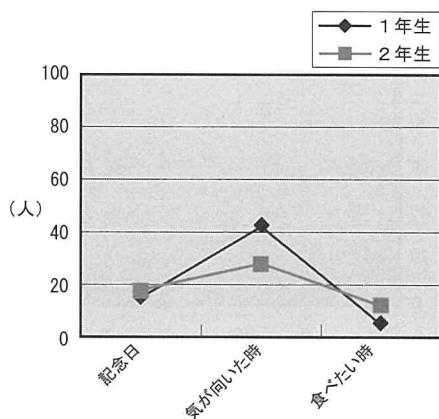


図-14 どのような時に作るか

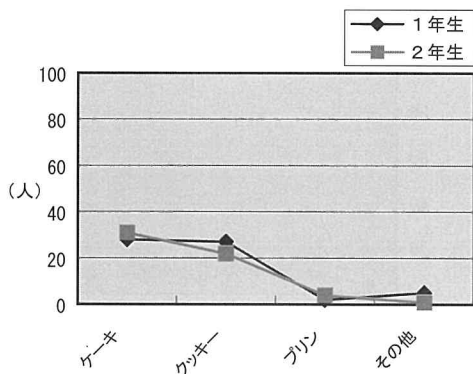


図-13 どのようなお菓子を作るか

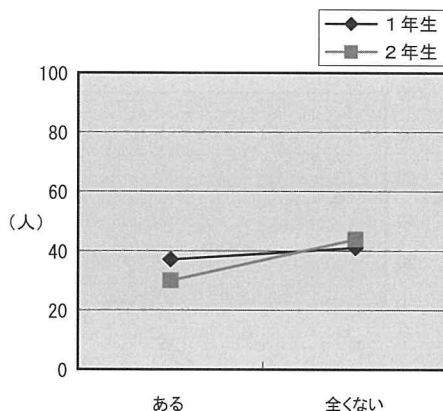


図-15 自宅にお客様を招くことはあるか

生では炒め物が最も多く、カレー・煮物・汁物・オムライスの順に多かった。

④料理はどのような時に作るか (図-11)

1年生では休日に36.1%その他(親が外出の為、他に予定がない時、アルバイトのない時)が29.2%あり、2年生では平日43.9%(親が仕事を持っているため・お弁当など)、休日は34.8%であった。

⑤自宅でお菓子を作るか (図-12)

時々作るのは1年生で79.5%2年生では78.4%あり作ることが多いのは嬉しい。

⑥どのようなお菓子を作るのか (図-13)

1・2年生共ケーキとクッキーが大半を占め次いでプリンであった。

⑦どのような時に作るのか (図-14)

1年生は気が向いた時が67.7%に次いで記念日が24.2%2年生でも気が向いた時が48.3%で記念日が31%と同じ傾向を示していた。

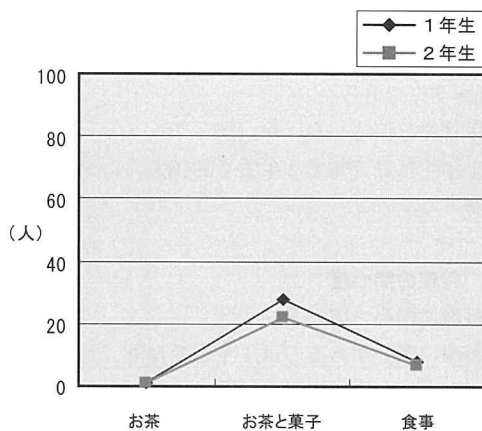


図-16 もてなしの形は何かが多いか

3. もてなしについて

①自宅に客を招くことはあるか (図-16)

あると答えた1年生は47.4%2年生では40.5%で

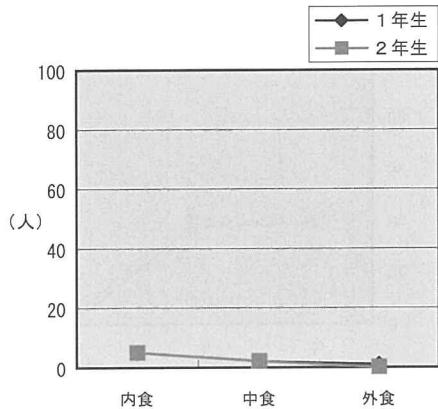


図-17 食事はどのような形が多いか

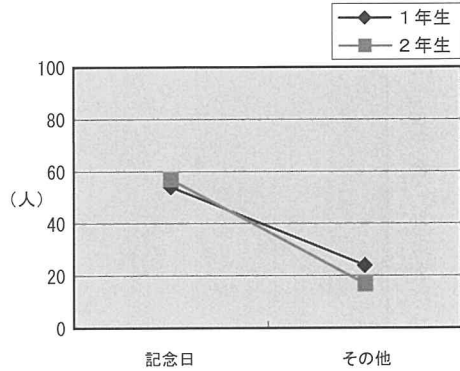


図-19 どのような時にもてなしたいか

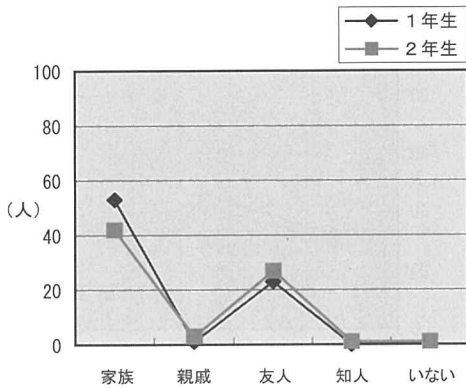


図-18 貴女が今、食事でもてなしたい人は誰か

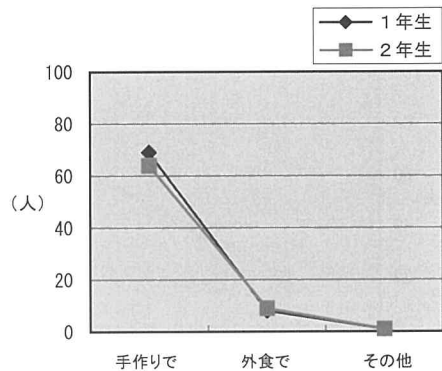


図-20 どのような形でもてなしたいか

あった。もてなしをしたことがないと答えた1年生は52.6%で2年生では59.5%であった。

②もてなしの形は(図-17)

お茶とお菓子でのもてなしは1年生では75.7%2年生は73.3%であった。お食事でのもてなしは1・2年生共約10%であり、比較的食事でのもてなしは少ないと感じた。

③家庭に食事を招待した時の形(図-17)

自宅に招き手料理でもてなしをする家庭が1年生では内食が62.5%2年生は71.4%であった。中食は1年生で約25%2年生では28.6%を利用し、1年生で12.5%は外食を利用していた。

⑤今食事でもてなしたい人は誰か(図-18)

学生自身が食事を作って、もてなしをしたい人は1・2年共家族が全体の半数以上を占め次いで友人が多かった。

④どのような時にもてなしたいか(図-19)

記念日(誕生日・母の日・クリスマスなど)が1年生では69.2%2年生は77%と多く、その他(普段疲れているとき癒したいため・気が向いたときなど)は1年生30.8%2年生23%であった。

⑤どのような形で(図-20)

手作りでのもてなしは1年生88.5%2年生では86.5%と多く外食では1・2年生共約11%程度であった。

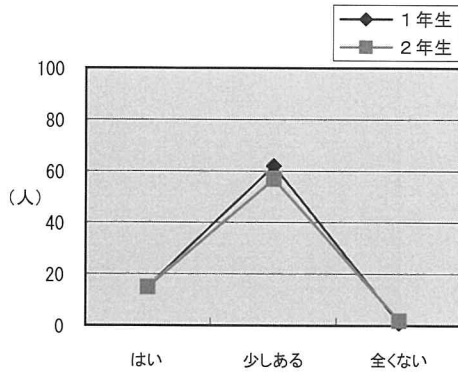
4. 食空間についての関心度

①食空間に関心はあるか(図-21)

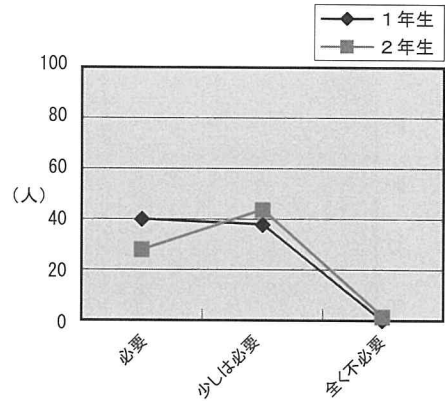
少しあると答えた1年生は79.5%2年生では77%であった。関心があると答えたのは1・2年生共約20%であった。現在の学生は食卓について関心を示していると捉えて良いと思う。

②食空間に関する雑誌を見るか(図-22)

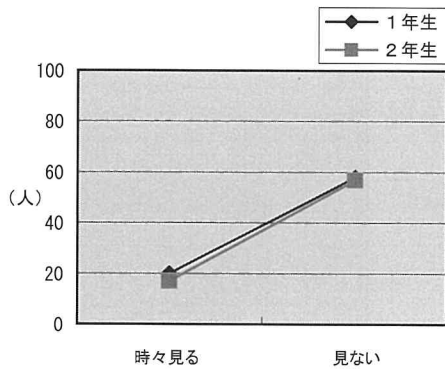
テーブルコーディネートに関する雑誌を見ないという人は70%で非常に多かった。関心はあっても雑



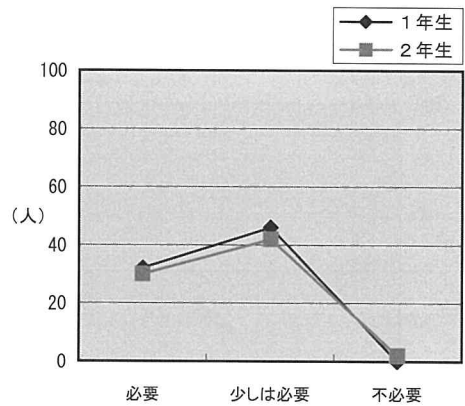
図一21 食空間について関心があるか



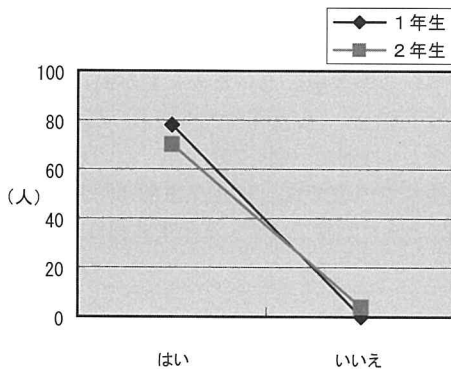
図一24 栄養士にテーブルコーディネートの知識は必要か



図一22 食空間に関する雑誌を見ることはあるか



図一25 家庭人としてテーブルコーディネートの知識は必要か



図一23 テーブルコーディネートを学んでみたいと思うか

誌を見ることは少ないと感じた。しかし見ている人は約30%あった。

③食空間を学ぶ気持ちはあるか (図一23)

テーブルコーディネートを学んでみたい人は1年生では100%であった。2年生でも94.6%あり、食

空間に対して実際にふれてみたいという気持ちがあると感じた。

④栄養士はテーブルコーディネートの知識の必要か (図一24)

ほぼ必要と思う人は1年生では100% 2年生では97.3%であった。2年生で全く不必要と答えた人は2.7%と僅かにいて、理由としてその知識はなくても何とかするという意見であった。

⑤家庭人としてテーブルコーディネートの知識は必要か (図一25)

ほぼあったほうがよいと思う人は1年生では100% 2年生は97.3%という結果であった。これは栄養士のみならず食に携わる人は特に食空間の知識は必要であると捉えてよいのではないかと思う。

⑥テーブルリネンに興味があるか (図一26)

テーブルリネンに興味があるが1年生では97.4% 2年生は95.9%あり、大半を占めていた。全

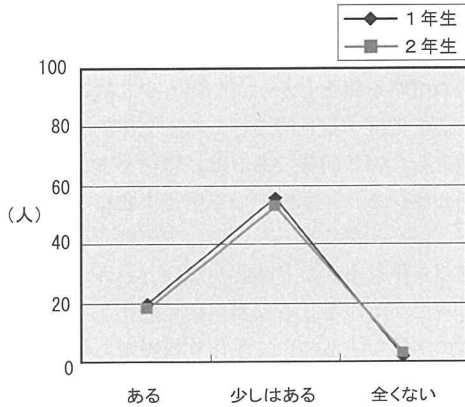


図-26 テーブルリネンに興味があるか

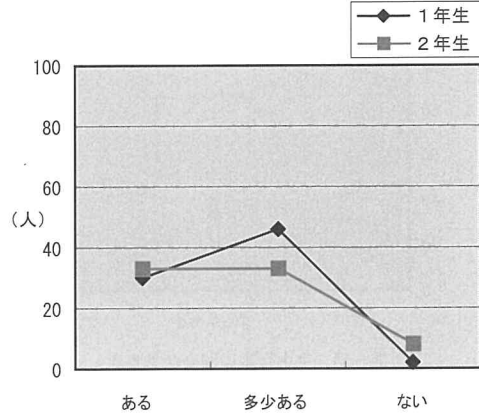


図-28 食器に興味があるか

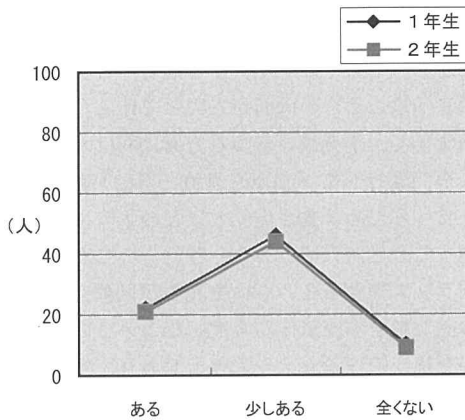


図-27 テーブルフラワーに興味があるか

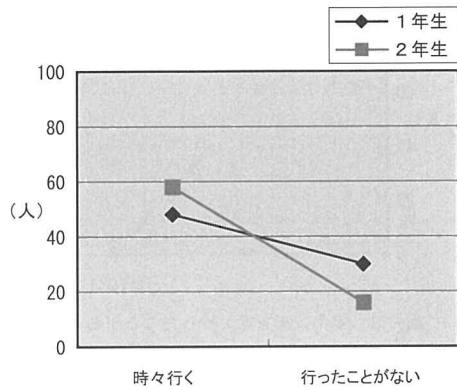


図-29 食器店等見に行くことはあるか

く興味がないという理由には面倒くさい・なくても困らないなどがあった。

⑦食卓花に興味があるか (図-27)

興味がほぼある人は1年生では約87.2% 2年生は87.9%と約同数を占め全く無いと答えた人は1・2年生共に約12%あった。その中には実際にやってみないとよくわからない・花に興味がないという理由であった。

⑧食器類に興味はあるか (図-28)

食器にほぼ興味があると思う人は1年生が97.4% 2年生は89.2%あった。若い人が食器売場などに多く見られるのはこの結果からも合点が行く。

⑨食器店に行くことがあるか (図-29)

食器店に時々行くことがあると答えた学生は、1年生で48%あり 2年生では58%であった。行ったことがない学生では1年生が30%あり、2年生では17

%あった。行ったことがないという理由は、高価だから・親が買ってくるから・必要がないからなどであった。

⑩行事の関心度 (図-30)

年中行事に関心があるのは1・2年生共に約98%であった。全く関心がないと答えた1年生は2.6% 2年生は1.4%で僅かだが理由としては面倒である・家でほとんどやらないからであった。

⑩家では年中行事をするか (図-31)

家で何かの年中行事を行う家庭は1年生では100% 2年生は95.9%であった。

⑪家で行事食を作るか (図-32)

行事食を家庭で作るのは1年生では80.8% 2年生では90.5%、全く無い家庭は1年生が19.2%、2年生は9.5%あった。その理由は家で特に誕生日やお正月などの年中行事はやったことがない・両親が共

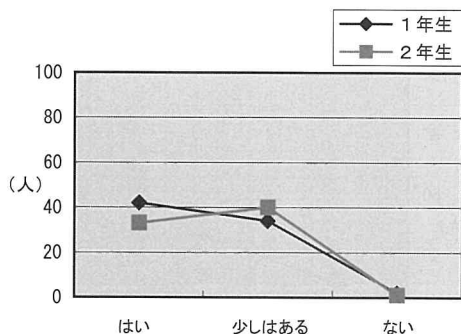


図-30 年中行事に関心があるか

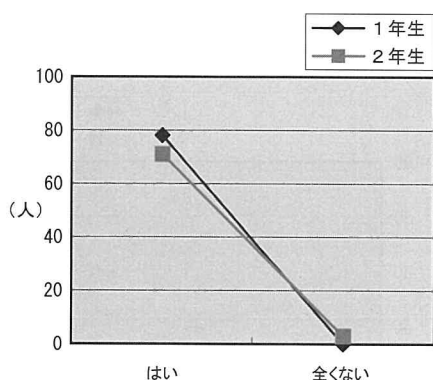


図-31 年中行事を家でやったことがあるか

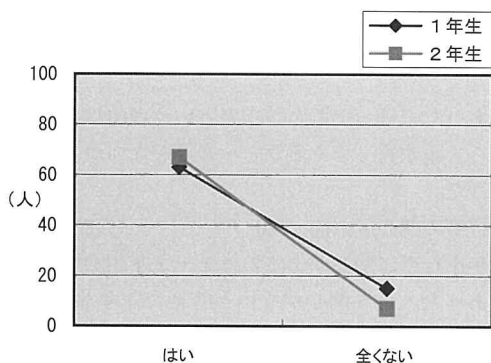


図-32 家で行事食を作るか

働きの家庭のため休祭日はゆっくり休みたいのではない・おせち料理などは美味しくないので作らない・また家族がそれぞれの過ごし方をするなどの理由があった。

#### IV. まとめ

研究紀要39号では本学で食を学んでいる学生の食生活の概略を報告したが、今回も少し続けて学生の食生活を把握する目的で行った。全体的にみると前回調査したのと同様であった。料理や食卓についての関心度があり、家庭での年中行事食なども作っているという結果であった。逆に少人数ではあったが料理や年中行事食など関心がないという学生や家庭があった。時代とともに食生活も変化してきている。日常の多忙な生活の中で手作り料理から中食のスタイルにゆだねる傾向にあり、デパートの食品売場や惣菜店の利用で、各店頭は夕方になると賑わっている。調理に費やす手間や時間も短くなり、個々の家庭の味として食卓にどのように工夫するかということも必要であろう。食事は調理（時には他に委ねることがあってもそれを工夫する能力）と食空間（豊かに食べること）の両面から成っている。このことを踏まえて、卒業後あらゆる方面に羽ばたく学生は、食の専門家として「食卓を見直そう」「楽しく美味しく食べるための食卓作りとはどのように」を学び実践することが大切であると考え。したがって栄養バランスの食事とともに喫食者が気分良く、楽しく食欲が増す雰囲気作りも大切なことであり、豊かな心を担う管理栄養士や栄養士であり、生活者でありたいと願ってもある。

#### 要約

本学の食物栄養を学んでいる学生を対象にどのような食生活を過ごしているのか、食空間に対してどのように考えているのかを知るためにアンケート調査を行った結果、以下のことが明らかになった。調査時期は2006年11月実施し、回収率は89.4% (152名)。以下4つの柱に大別しアンケート調査をした。

1. 食生活の現状について
2. 料理の関心度について
3. もてなしについて
4. 食空間の関心度について

#### 1. 食生活の現状について

- ①現在の住まいは学校近郊の通学生が大半を占め地方からの学生は1年生が少々多いが全体としては少ない。



- ②1人暮らしの場合は帰省先での食生活を聞いた。帰省先では家族揃って食事をするは1・2年生共9割。しかし全くしない家庭は1・2年生共約1割あった。
- ③1日の中で家族揃って食事は何時か1・2年生共夕食が最も多く次いで1年生では昼食と夕食、2年生では朝食と夕食が多かった。
- ④家族と同居の場合、家族が揃って食事をする家庭は1・2年生共最も多かったが、全く無い家庭は1・2年生共に1割あった。
- ⑤平日では1・2年生共に夕食が最も多かった。
- ⑥休日に家族揃って時々食事をする家庭は1・2年生5割で同数。全く無い家庭は1年生では約2割2年生は約1割であった。
- ⑦休日では1・2年生共に夕食が最も多かった。

## 2. 料理の関心度

- ①料理に関心があるのは1・2年生共ほとんどの学生は関心があったが、料理に関心がない学生は1・2年生共に約1.4割あった。
- ②家庭で時々料理を作る学生は1年生では約6割で2年生は7割であった。しかし全く作らない学生が1・2年生1割いた。
- ③よく作る料理は1年生では煮物が最も多く、チャーハン・カレー・オムライス・ハンバーグの順に多かった。2年生は炒め物が最も多く、カレー・煮物・汁物・オムライスの順に多かった。
- ④休日に料理を作るのは1年生で約3割、その他も3割であった。その他の理由として親が外出のため・他に予定がない時・アルバイトのない時などだった。2年生では平日料理を作るのは4割でその理由は親が仕事を持っているため・お弁当などであった。休日に料理を作るのは約3割あった。
- ⑤自宅で時々お菓子を作るのは1・2年生で約8割の学生が作っている。
- ⑥お菓子の種類は1・2年生共ケーキとクッキーが大半を占め次いでプリンであった。
- ⑦作る日は1年生では気が向いた時が約7割次いで記念日。2年生も気が向いた時が5割次いで記念日と同じ傾向を示していた。

## 3. もてなしについて

- ①自宅に客を招くことがある家庭は1・2年生共4

割であったが、招くことはない家庭は1・2年生共約6割程度あった。

- ②自宅でのもてなしの形としてお茶とお菓子は1・2年生共に約7割。お食事でのもてなしでは1・2年生共に約1割あり、比較的食事でもてなしをする家庭は少なかった。
- ③自宅で料理でのもてなしをする場合、内食では1年生が6割で2年生は7割であった。中食では1年生が約2割で2年生は3割であった。また1年生では1割が外食を利用していた。
- ⑤学生自身が食事を作ってもてなしをしたい人は1・2年共家族が全体の半数以上を占め次いで友人が多かった。
- ④もてなしをしたいのは記念日（誕生日・母の日・クリスマスなど）が1年生では7割で2年生は8割あった。1・2年生共その他には普段疲れているとき癒したいため・気が向いた時などであった。
- ⑤手作りでのもてなしをするのは、1・2年生共大半を占め、外食のもてなしは1・2年生共約1割程度であった。

## 4. 食空間についての関心度

- ①食空間に対して関心を持っている学生は1・2年生共に9割以上であった。現在の学生は食卓について感心を示していると捉えて良いと思う。
- ②食空間に関する雑誌などに関する雑誌を見ないという人は7割で非常に多かった。関心はあっても雑誌を見ることは少ないと感じたが見ている人が約3割はあった。
- ③食空間（テーブルコーディネートなど）を学んでみたい人は1・2年生共大半を占めていた。
- ④栄養士にとって、テーブルコーディネートの知識が必要と思う人は1・2年生共大半を占めていたが、2年生で全く不必要と答えた人は3割いた。理由はその知識はなくても何とかなるという意見であった。
- ⑤家庭人としてテーブルコーディネートの知識はあったほうがよいと思う人は1・2年生共大半を占めていた。
- ⑥テーブルリネンに興味があればあるのは1・2年生共大半を占めていた。しかし全くないという理由には面倒くさい・無くても困らないなどがあった。

- ⑦食卓花に興味がある人は1・2年生共約8割を占め全くないと答えた人は1・2年生共約2割近くあった。その中には実際にやってみないとよくわからない・花に興味がないという理由であった。
- ⑧食器にほぼ興味があると思う人は1・2年生共が8割以上占めていた。
- ⑨食器店に見に行くことがある学生と行かない学生は半数ずつであった。
- ⑩年中行事に関心があるのは1・2年生共に約9割。全く関心がないと答えた学生は1割あった。
- ⑪家で何かの年中行事を行う家庭は1年生全員2年生は9割であった。
- ⑫行事食を家庭で作るのは1年生では8割で2年生では9割であった。全く行事食を家庭で作らない

家庭は1年生では2割で2年生は1割あった。その理由は家で特に誕生日やお正月などの年中行事はやったことがない、両親が共働きの家庭のため休祭日はゆっくり休みたいなどの理由であった。

#### 参考文献

- 1) 平野雅章・田中静・服部幸應・森谷久編：食の名言辞典，東京書籍，1994
- 2) 太田信子・箆早苗：小児歯科患者の食生活に関する調査報告，駒沢女子短期大学研究紀要，38，2005
- 3) 太田信子・箆早苗：食空間に関する一考察，駒沢女子短期大学研究紀要，39，2006